

平成 22 年 1 月 30 日
景観まちづくりワークショップ資料

江戸川区景観計画の概要

「わがまちへの誇りを持つ暮らし」の実現に向けて—景観計画の構成—

江戸川区景観計画とは

策定の背景と目的

- 本区では区民と区の協働により、**水と緑を基盤**とした**豊かなまちの環境**が整ってきました。この**まちのグレードをさらに高める**ため、景観を視点に、地域の環境全体を総合的に捉えたまちづくりが必要です。
- そのため、「**わがまちに誇りを持つ景観**」を創出するとともに、「**将来に夢を持つ計画**」として多くの区民の参画による知恵を集大成し、一丸となって取り組むことを目的とします。

計画の位置づけ

- ①江戸川区長期構想「**えどがわ新世紀デザイン**」及び都市マスタープラン「**江戸川区街づくり基本プラン**」の具体化計画です。
- ②景観法に定める「**景観計画**」です。
- ③景観の持つ総合性に着目し、他の関連計画と整合性を図り、**まちづくりの総仕上げを行う**ための計画です。

江戸川区の現況と江戸川らしさ

- 土地が育ててきた**水と緑**、**歴史・文化**、**まちなみ**、**活力やにぎわい**、**人々の暮らし**などの様々な要素が重なり合って総合的に形成される、「**江戸川らしさ**」を資源として守り、つくり、育てていきます。
- 目に見えるものだけでなく、**五感を使って感じるもの**も江戸川らしさのある景観です。

江戸川区景観まちづくりの目標と方針

目標

水と緑に育まれた、多様な「**地域らしさ**」を引き出す景観まちづくり
～わがまちへの誇りを持つ暮らし～

基本方針

- 水に親しみ、緑を育もう
- これまで創り育てたまちの宝物を大切にしよう
- 住み良く心地よいまちなみを育てよう
- いきいきとしたまちの表情をつくろう
- 区民の想いを活かし協力して進めよう

大景観区 ～地域別方針～

- 地域らしさを活かした景観まちづくりを進めるための地域特性やテーマを示します。

景観まちづくりの内容

骨格となる景観まちづくり

景観軸・景観拠点・一般地域
～景観の規制・誘導～

- 区顔となる景観上重要な地域を景観軸、景観拠点、それ以外を一般地域に指定し、景観の規制誘導を行います。

・事前協議、届出制度活用
・景観地区、地区計画等によるルール強化

景観重要資産
～地域資源の保全・活用・整備～

- 地域のシンボルとなる資源を景観重要資産に指定し、保全・活用・整備します。

・景観重要資産の指定

地域がこころをこめて景観まちづくり

小景観区
～活動を育てる景観まちづくり～

- 大景観区をふまえ、区民・事業者主体の景観まちづくり活動を育てます。

・景観まちづくりの普及
・景観まちづくり登録
・法制度等の活用

景観まちづくりの推進体制の確立

江戸川区の現況と江戸川らしさ

本区には、この土地が育んできた、水と緑、歴史・文化、まちなみ、活力・にぎわい、人々の暮らしなど、様々な要素が重なり合って総合的に形成される、多様な「江戸川らしさ」があります。

この江戸川らしさは、目に見えるものだけではなく、音やにおい、雰囲気などの五感を使って感じるものもあります。また、景観の感じ方は人それぞれであります、それらを全て含めたものが、まちの個性となっています。

ここでは、平成 20 年度に開催した景観まちづくりワークショップ等を通じて区民や区職員がみつけた様々な「江戸川らしさ」の一部を紹介します。



水と緑



歴史・文化



まちなみ



にぎわい・活力

暮らし



●江戸川区景観まちづくりワークショップ
区民と区職員がともに江戸川区の景観を考える場として、平成 20 年度より実施。
まちあるき等を通じて、江戸川らしさのある景観をみつけたり、今後の景観のあり方について、意見交換してきました。



江戸川区景観まちづくりの目標と方針

目標

水と緑に育まれた、多様な「地域らしさ」を引き出す景観まちづくり ～わがまちへの誇りを持つ暮らし～

まちの基盤が整備された現在、安心・安全や利便性だけでなく、わがまちへの誇りを持って暮らせるまちづくりが必要です。そのため、そこに住む1人ひとりが「地域らしさ」を発見し、それを大切にしていくことで、地域への愛着を醸成していきます。そして、これらの景観まちづくりの取組を継続することで、生活アメニティの向上や地域の活性化が進むとともに、次世代へ文化を伝承していきます。

本計画では、水と緑に育まれた、多様な「地域らしさ」を、見て眺めるだけでなく、さらに引き出すことにより、本区で暮らす皆がわがまちへの誇りを持ち、いつまでも住み続けたいと思える景観まちづくりを目指します。

●地域らしさのある景観とは

地域らしさとは、地勢や植生など自然環境の中で、まちの変遷とともに人々の生活の中で作り上げてきた様々な歴史や文化によって形成されます。

路地ににじみ出す生活感、商店街にあふれる買い物客の活気、住宅地の緑豊かな閑静なたたずまい、親水公園で遊ぶ子ども達のにぎわいなど、これまでの様々な歴史や文化を持つまちの中で、現在住んでいる人々の暮らし方や生き方が加わり、「景観」として姿形に表れます。そのため、地域らしさのある景観は、まちの住み良さや文化性を判断するバロメーターとなっています。

基本方針

水に親しみ、緑を育もう ～水と緑の景観を育てる～

水と緑の環境を後世に伝えていくため、より多くの区民が水に親しみ、緑を育むことを通じ、水と緑の景観をさらに拡充していきます。

視点

- ・大規模な水と緑の景観を守り、育てる
- ・身近な水と緑をつくり、育てる
- ・水と緑のネットワークをつくる



これまで創り育てたまちの 宝物を大切にしよう ～まちの歴史や文化を大切に～

歴史や文化を感じ取れる要素や、目に見えにくいもの、既に失われてしまった歴史や文化を大切にしたい景観まちづくりを進めます。

視点

- ・土地の記憶を活かす
- ・歴史・文化資源を保全し、景観を活かす



住み良く心地よい まちなみを育てよう ～地域ごとの特色あるまちなみを育てる～

地域らしさが引き立つまちなみを育て、また、煩雑な景観を改善し、特色ある個性豊かなまちづくりを進めます。

視点

- ・まちの特色をふまえて地域らしさを引き出す
- ・まちのシンボルとなる資源を保全・活用する
- ・ディスプレイを改善する



生き生きとしたまちの 表情をつくろう ～活力をうみだし、にぎわいの景観を育てる～

イベントや催し、屋形船や金魚養殖など、区民や産業の持つパワーを活かし、生き生きとしたまちの表情となる景観まちづくりを進めます。

視点

- ・元気な子どもの姿を景観を活かす
- ・人が楽しみ、交流する景観をつくる
- ・江戸川らしさのある地域産業を景観を活かす



区民の想いを活かし 協力して進めよう ～区民が主体となって景観まちづくりを進める～

身近な景観や地域らしさのある景観を考えることで、地域への愛着を深めていけるよう、区民が主体となった景観まちづくりを進めます。

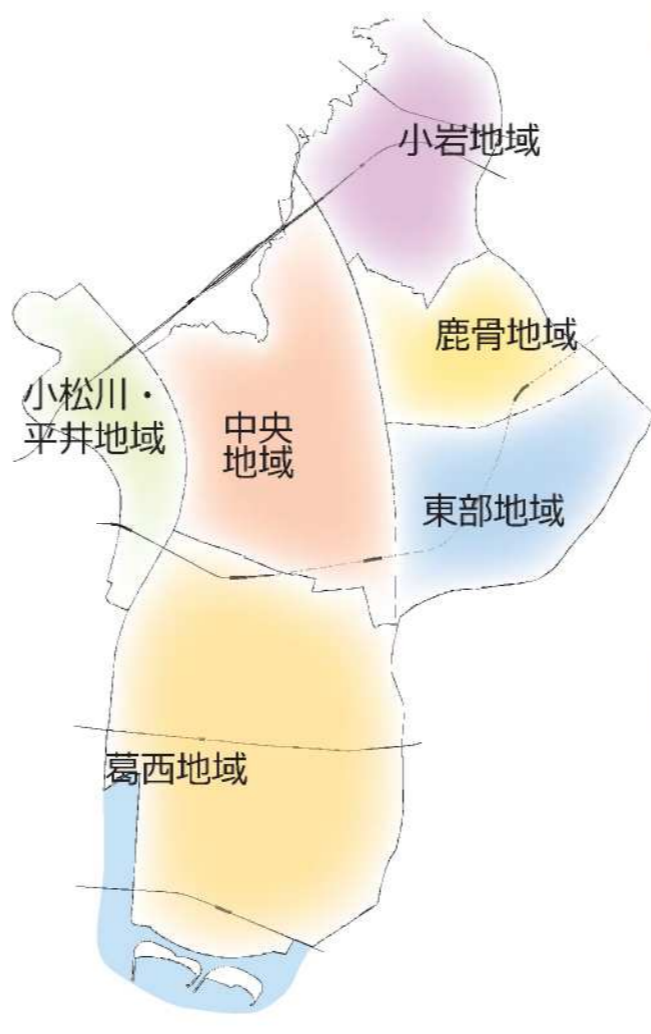
視点

- ・地域力を活かした景観まちづくりを進める
- ・できること、身近な景観を改善する
- ・子どもたちとともに景観への意識を高める



大景観区 ～地域別方針～

地域らしさのある景観を育てるため、大景観区を設定し、地域ごとの景観まちづくりのテーマを以下に示します。



大景観区とは
地勢的条件や市街地形成の歩み、これまで培われてきたコミュニティの状況を
ふまえ、6つの事務所管轄区域を大きな景観のまとまりとして「大景観区」を設定します。

小松川・平井地域



地域特性 小松川・平井地域は、大正初期に工場が集中立地して都市化が進み、昭和初期には平井駅を中心に区内第一の商店街が発達しました。現在は工場跡地に集合住宅の建設や、市街地再開発事業など、住宅地を主体に商業地や工業地が混在するまちなみとなっています。また、平井聖天や渡し跡などの歴史的・文化的資源や、大島小松川公園、荒川河川敷など人々が集まり、憩える場が多くあります。

テーマ 豊かな水辺に囲まれた、にぎわいのある景観まちづくり

豊かな水辺環境が育んだまちの資源を大切にするとともに、多くの人が集まる商店街や公園等のある環境を活かした景観まちづくりを進めます。

中央地域



地域特性 小松川境川親水公園と一之江境川親水公園が本地域の中心を流れ、区役所などの公共施設が集積する拠点があります。昭和初期より工場が進出して徐々に都市化が進み、現在は中央・松江地区を中心に町工場と住宅が混在するまちなみが形成されています。また、沿道に商業が集積する船堀街道や、今井街道、千葉街道、五分一通りなどの旧道があり、多くの人でにぎわっています。

テーマ 人々のにぎわいがせせらぎに映える景観まちづくり

本地域ならではの産業の活気や、道行く多様な人々の往来を活かした景観まちづくりを進めます。

葛西地域



地域特性 葛西地域は、新川以南のほぼ全域における土地区画整理事業や海面埋立等により、水と緑豊かな「新しいまち」として生まれ変わりました。一方で、寺社が集積する東葛西二丁目付近のまちなみや、雷の大神楽などの伝統的な祭、埋立前の海岸線の面影を残す旧海岸堤など、農業や漁業を中心としたかつての葛西の風景が断片的に残っています。

テーマ 海辺のまちとして、新しい中にかつての風景が息づく景観まちづくり

海とともに発展してきた海辺のまちとして、かつての葛西の風景を大切にするとともに、多様なレクリエーション機能を持つ水と緑を活かした景観まちづくりを進めます。

小岩地域



地域特性 小岩地域には、弥生時代後期に人が住み始めた上小岩遺跡、交通の要衝として形成された集落など、本区中でも最も古い歴史を持つ地域で、善養寺や万福寺など、閑静な住宅地の中に歴史的資源が多く分布しています。また、小岩駅周辺にはフラワーロードや地藏通りなど様々な商店街や、路地が入り組む下町らしいまちなみが形成されています。

テーマ 古い歴史の中に、暮らしの温もりとにぎわいがある景観まちづくり

約1800年にも及ぶ古い歴史と、個性ある魅力的な商店街や親しみある路地、閑静な住宅街がつくり出す界隈性を活かした景観まちづくりを進めます。

鹿骨地域



地域特性 鹿骨地域はかつて水田の広がる田園地帯でした。昭和4年に農業試験場が建設され、農業振興の拠点となっており、今も花卉や小松菜を栽培する農地や農家住宅が点在しています。また、篠崎公園の区民まつり、江戸川の花火大会、篠崎駅に集積する多様な区民の交流施設があるなど、暮らしの中で育まれる文化の発信拠点となっています。

テーマ 農の風景の中で、暮らしの文化が育つ景観まちづくり

本区の原風景とも言える農の風景と、暮らしの中で育まれる文化を活かした景観まちづくりを進めます。

東部地域



地域特性 東部地域は、明治時代まで水田の広がる田園地帯で、篠崎街道沿いは塩づくりが行われていた対岸の行徳の地域とともに栄えていました。昭和30年代後半から農地の宅地化が進み、現在も一部に農地が残っていますが、大半は低層の住宅地が広がるまちなみとなっています。また、一之江名主屋敷や大雲寺、江戸川水門の桜並木など、歴史を感じる資源が点在しています。

テーマ 豊かな水と緑に囲まれた、歴史を感じる景観まちづくり

豊かな水と緑、歴史的背景や資源を活かした景観まちづくりを進めます。

景観軸・景観拠点・一般地域 ～景観の規制・誘導～

- 多くの区民が「江戸川らしさ」を感じる景観、本区のイメージを象徴する地域や玄関口となる55の地域を景観軸・景観拠点として指定します。
- 区民が郷土を感じ、共有財産として誇れる景観となるよう景観軸・景観拠点を重点的に景観を保全・修景します。
- 景観軸・景観拠点では、公共施設の整備とその周辺のまちなみの規制誘導を進め、公共と民間が一体となった景観形成を進めます。
- 景観軸・景観拠点は、それぞれに区域を設定すると共に、景観軸・景観拠点の区域以外の地域を「一般地域」とし、良好なまちなみを守るため、一定規模以上の建築等の行為に対し規制誘導を進めます。



親水河川景観軸

2軸

対象：旧中川、新川

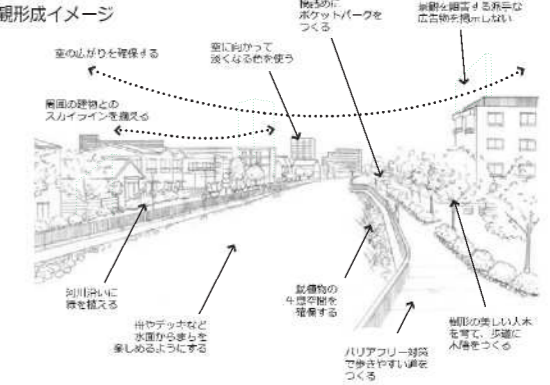
目標

周辺のまちなみと一体となった、水辺に親しめる空間づくり

景観形成方針

- ①四季の変化を感じ、歩いて楽しい水辺をつくる
- ②歴史的・文化的資源を活かす
- ③地域のまちづくりとの連携により景観をつくる
- ④潤いある水辺空間をつくる

景観形成イメージ



親水公園景観軸・親水緑道景観軸

22軸

対象：区内全ての親水公園、親水緑道

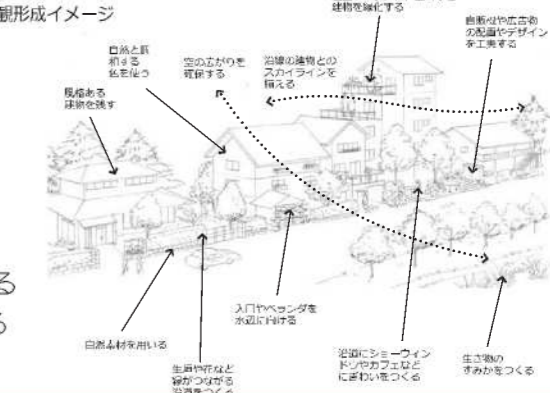
目標

水と緑の個性ある魅力的な都市景観の形成を図る

景観形成方針

- ①周辺のまちなみと一体となった緑豊かな景観をつくる
- ②沿川の歴史的・文化的資源を活かす
- ③水に親しめる緑豊かな連続したアメニティ空間をつくる
- ④活発なコミュニティ活動をうみだす拠点としての環境を整備する
- ⑤地域のまちづくりとの連携により景観をつくる

景観形成イメージ



道の景観軸

11軸

対象：環状七号線、蔵前橋通り、一葉街道、京葉道路、今井街道、新大橋通り、葛西橋通り、放射16号線、柴又街道、船堀街道、平和通り、補助120号線

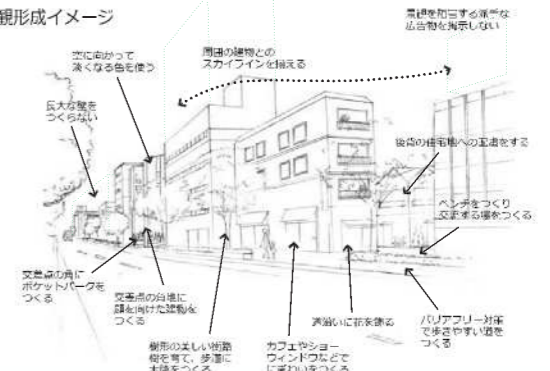
目標

沿道の多様な地域性をふまえて、他に誇れる風格ある景観形成を図る

景観形成方針

- ①緑の骨格となり、空の広がりを感じる景観をつくる
- ②人にやさしい、安全・安心なみちをつくる
- ③後背のまちなみと調和した景観をつくる
- ④環境に配慮したまちづくりとみちづくりを進める

景観形成イメージ



駅の景観拠点

9拠点

対象：京成小岩駅、平井駅、小岩駅、船堀駅、一之江駅、瑞江駅、篠崎駅、西葛西駅、葛西駅

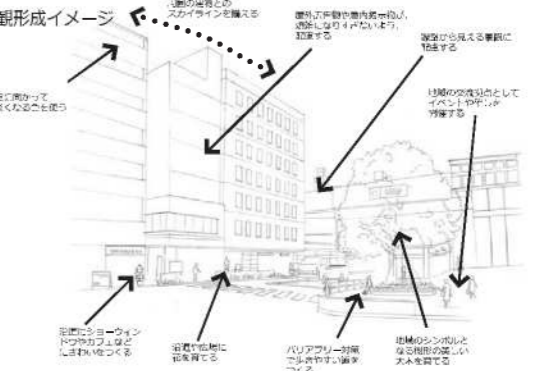
目標

地域の玄関口にふさわしい、個性を活かしたにぎわいの空間づくり

景観形成方針

- ①地域のシンボル性をもたせた景観をつくる
- ②人々が交流する、にぎわいの拠点となる景観をつくる
- ③地域に密着し、活力ある商店街の景観をつくる
- ④地域の拠点として、まとまりや秩序の感じられる景観をつくる

景観形成イメージ



臨海景観拠点

1拠点

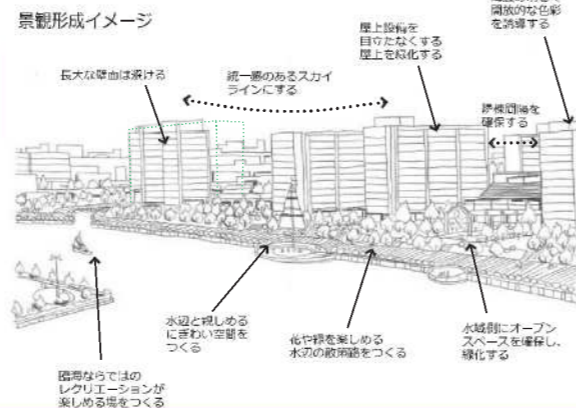
目標

海辺の自然と共生した、新しい時代にふさわしい景観形成を図る

景観形成方針

- ①陸・海・空の玄関口として新しい時代にふさわしい景観の形成
- ②地域の特性を活かし、海辺の環境と共生した景観の形成
- ③区民にとって貴重な海辺景観の保全と活用
- ④歴史的景観資源等を生かした景観の形成
- ⑤地域のまちづくりや景観づくりとの連携

景観形成イメージ



大河川景観軸

4軸

対象：荒川・中川、江戸川、旧江戸川、新中川

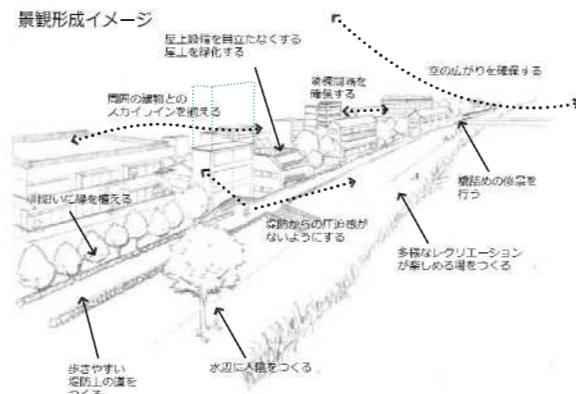
目標

豊かな水と緑と開放的な空間の中で、楽しみと癒しを感じる景観形成を図る

景観形成方針

- ①豊かな水と緑を保全し、生き物や植物の命を感じる景観を守る
- ②ダイナミックなスケールの中で癒しを感じることが出来る景観を守る
- ③多様なレクリエーションによる活気ある景観を守る
- ④周辺に広がる景観資源を意識した水辺の景観づくりを進める
- ⑤周辺のまちづくりや関係自治体と連携した景観づくりを進める

景観形成イメージ



小景観区 ～活動を育てる景観まちづくり～

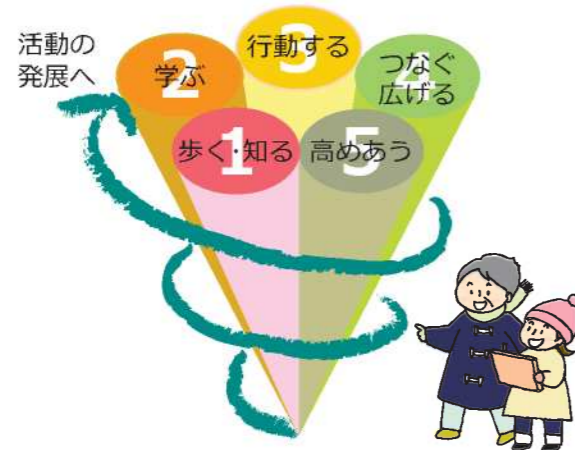
小景観区のまちづくりとは

区民、事業者が主体となった

地域らしさを活かした景観まちづくり活動を広げていきます。

小景観区のまちづくり

小景観区のまちづくりの進め方



- 1** 歩く・知る
まちを歩いて、まちの良さ・改善したいことを見つけよう。
- 2** 学ぶ
景観まちづくりに必要なことを学び、夢を描こう。
- 3** 行動する
実現に向けて行動しよう。
- 4** つなぐ・広げる
より多くの人と協力し、地域らしさを広げよう。
- 5** 高めあう
他の景観まちづくり活動を知り、互いに活動を高めあおう。
- 1** 歩く・知る
さらなる向上を目指し、もう一度まちを歩こう。



身近な景観をつくる 区民の活動

現在、アダプト活動に約 6,000 人もの参加があるなど、**まちをよくしていく多種多様な区民活動**が展開しています。
これらは**すべて景観まちづくり**につながっています。

日々の身近な活動

家や店の前の掃除や路地園芸などを楽しむ活動



地域ごとの活動

町会・自治会や氏子など、地域の皆で取り組む活動



アダプト活動

公園や水辺、街路で花壇づくりや清掃などを行う活動

地域らしさのある 景観を再生・ 引き立たせる活動

まちの歴史や資源など、まち毎の多様な**地域らしさを活かすこと**を**テーマとした景観まちづくり活動**を区に登録し、広げていきます。

新しい景観を提案・ チャレンジする活動

地域資源を再発掘し、これからの地域の個性となる景観を提案し、つくり育てる活動



景観をテーマに地域が 協力して取り組む活動

地域の皆が協力しあい、イベント開催や花づくりなど地域らしさのある景観づくりをテーマとする活動

まちを学び、 将来像を描く活動

まちあるきなどを通じて、「地域らしさ」を**発見・学習し、それを普及**する活動や、皆でまちの将来像を描き、**計画やルールをつくる活動**を広げていきます。

まちの計画や ルールをつくる活動

計画やルールづくりに向けて、地域の景観のあり方を考える活動



まちの資源を 発見・学習・ 普及する活動

地域の皆でタウンウォッチング、勉強会などを行う活動

アダプト等関連制度の活用

- ・多様な関連制度・事業の活用
- ・小景観区のまちづくりに参加や活動しやすい仕組みづくり

(仮) 景観まちづくり登録

- ・区民同士の交流の場づくり
- ・互いの活動を高め合う仕組みづくり

法制度等の活用

- ・景観地区
- ・景観協定
- ・建築協定
- ・緑化協定
- ・コンサルタント派遣

個性あるまちの景観となる ↓ まちが活性化する